



題字 高校第十六回生の佐藤美佐子さん (旧姓田代)の筆になるものです。

私たちの図書館

田中 良三 (短大特任教授/図書館長)

本号は、瀬木学園の80周年という記念すべき年に、図書館もこの間の歩みを振り返ってみようの特集を組みました。私は、いま、図書館運営という窓から、本法人の高校、短大、大学の教育研究の一端を覗かせてもらっています。長年大学に勤めてきたもので、図書館長は、はじめてのことなので、大変興味深く、そして学ぶことが沢山あります。

館に関心を持ってもらい利用してほしいとの願いで、図書館フェア、推薦図書強化月間、ブックリサイクル、クリスマスプレゼント(廃棄雑誌プレゼント)、多読賞表彰など、いろいろと知恵を絞り工夫を凝らしてイベントに取り組んでいます。また、学内インターンシップや学内ワークステイでは、短大・大学の学生を受け入れ、図書館業務を体験させて卒業後の就労や社会的自立を促すなど、今日短大・大学が求める新たな教育的社会的機能の拡充に取り組んでいます。瀬木学園図書館は、本学園の高校、短大、大学を支える図書館として、今後ますますその役割と発展が期待されます。みなさんのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

瀬木学園への想い

おおつか 大塚 知津子 (学校法人 瀬木学園 理事長・大学・短期大学学長)



〈80周年記念に寄せて〉

長い就職浪人時代を経て、遅咲き教員として瀬木学園に昭和61年(1986年)に入職しました。早いもので34年の月日が流れました。今年度、学園は80周年を迎え、発行する記念誌の追記内容の殆どは私の瀬木学園での経験と重なります。入職後の10年間は、古き良き大学そのものであり、本学に限らずおよそ国公立を問わず、大学・短大に余裕があったように思われます。私の過ごした瀬木学園での34年間、その前半は、浅井二郎理事長・学長に学外との共同研究をお許しいただき、教育研究にじっくりと取り組ませていただいたと同時に、元々、関心のあった「大学の在り方、高等教育の在り方」をテーマとした様々な教育フォーラムも自由に参加させていただきました。本当にのびのびと教員生活を満喫させていただき、幸せな時を過ごさせていただきました。今世紀に

入り、私立大学・短大の置かれている状況は厳しくなり、瀬木学園も教育改革に挑戦し続ける激動の時代となりました。その頃、瀬木和子前理事長に、瀬木学園図書館長を仰せ付けられ、東北陸地区図書館協議会会長校と全国図書館協議会幹事校の職務を経験させていただきました。短期大学は冬の時代に入り、足掛け6年間という図書館協議会の業務は流石に負担が重く、加盟していた短期大学の脱会が相次ぐようになっていました。本図書館は負荷の多い6年間のうち最後の2年は義務を全うした上、次へ引き継ぐ仲間図書館の負担を軽減するため、規約改正を当時副館長の三田村先生と(まるで弥次さん、喜多さんのように)取り組んだことを懐かしく思い出します。図書館長としての15年間、愛知みずほ短期大学と愛知みずほ大学に兼務し、導入されたばかりの認証評価制度の大学評価員も経験させていただきました。大学とは「」の命題に関心の強かった私には、今にも繋がる勉強となりました。現職も含め、ご指名いただきました時は、どの職位も、私にとりまして、考える間、覚悟する間なく、突然でありました。思い返しますと、私を突き動かしてきたのは瀬木学園に対する熱い想い(創立者の方々の敬意)です。平成16年(2004年)、国立大学の独立行政法人化を皮切りに、急激に展開する教育改革は、熱い想いだけで、乗り切れるものではなく、いつも、そこには瀬木学園全教職員の皆様の支えがございました。「大学とは」をそのまま人生の命題として、生きてきた私に追求実現の場を与えていただきました瀬木和子前理事長に深く感謝申し上げます。

瀬木三雄先生文庫

平成14年(2002年)の10月より、故瀬木三雄先生から寄贈された蔵書を図書館内で公開しています。瀬木三雄先生は、愛知みずほ短期大学の学長や、瀬木学園の理事長を務められた先生です。学外では、厚生省官僚として戦後の行政改革に従事され、「母子手帳」の発案※や、児童福祉法の制定などに携わられました。さらに、医学博士としても非常に高名で、肺がんの疫学的研究や、ヒトの胎児に見られる特殊な細胞集団(瀬木の帽子)の発見など数々の功績を残されています。現在公開している蔵書は、昭和20年代から30年代に発行されたものを中心に構成されています。アメリカ



カ陸軍教育省(『War Department education manual』シリーズほか)やカルフォルニア州教育省(『Living in Our Democracy』『WORLD WAYS』ほか)による資料など洋書も多数収集されています。また蔵書の中には、戦時中に発行された国内外の司法や民法に関わる資料、法規

全集、百科事典、医学書、教育関係資料などの学術書だけでなく、雑誌『山岳』(1910年〜1935年発行のもの)や絵本、文学選集など幅広い分野の資料が含まれています。瀬木三雄先生文庫の他にも、瀬木家の先生方から多数の資料を寄贈していただいていますので、今後も図書館報などでご紹介いたします。学園の歴史や当時の様子に触れることができる貴重な資料です。是非一度ご覧ください。

※母子手帳：妊娠中の母親と、生まれてきた子どもの健康を守るための手帳です。昭和23年(1948年)に制定され、戦後の混乱期から今日に至るまで、妊娠中の生活や育児に大きく貢献してきました。現在では、日本国内だけでなく諸外国にも翻訳され世界中で活躍しています。

貴重本紹介

『複製 近代文学手稿100選 (特装版)』
日本近代文学館編 二玄社 1994年

『近代文学手稿100選』は明治から昭和の時代にかけて活躍した81人の作家の手稿(手書きの原稿)102作品を当時の最新撮影印刷技術で複製したものです。近代文学の歴史的な展望が期待できると同時に、肉筆ならではの作家活動の生々しさと活字では味わうことのできない趣に触れることで、作家・作品をより深く理解することが可能となりました。なお、対象の手稿は執筆現場の跡をとどめるものとして、後に清書されたものは採られていません。



8番 夏目漱石「こゝろ」



94番 太宰治「人間失格」



木製の外箱

※出版社の許諾を得て掲載しています。

アルバム修復 Before → After!!

図書館では、学校新聞やアルバムなどの学園記録を保管しています。しかし、経年劣化で表紙や台紙が傷んでしまったものがありました。これらは創立80周年を迎えた瀬木学園の貴重な資料です。そこで、専門の業者に依頼して、アルバムの修復をしてもらうことにしました。修復を終えたアルバムは、ご覧のように見事に甦りました。これからも、歴史ある資料を大切に保管していきます。



表紙の外れ



綴じ直し・綴じ紐の交換



表紙の外れ



綴じ直し

表紙の外れ

綴じ直し・破れや皺の補修